

## 2 各 論

## (1) 青森県レッドリスト見直しの概要

2000年3月に「青森県の希少な野生生物 - 青森県レッドデータブック - 」が発刊され、翌年には環境教育等に活用されることを目的に同普及版も作成され、県内外の関係者に利用されてきた。当時の執筆・選定等を担当した検討会の奈良典明会長は、青森県の野生生物の概要について真に適切に地形、水系、風土、植生、ブラキストンが提唱した動物地理学上の意義、自然公園や自然環境保全地域、農薬・除草剤の汚染等による動植物の危機など多岐に亘って解説し、最後に「...完全なものでは決してない。各著者の意向を尊重したために統一性に欠けたところもある。著者による判断に誤りもあるだろう。この一冊を土台として、よりよいレッドデータブック改訂版を期待しながら筆を置く。」と結んでいる。

それからまもなく本県のレッドリストの改訂に係る準備が始まり、平成15年8月からは環境省も国の第2次レッドリスト見直しのための調査が平行して始まった。このような気運の中で、青森県レッドデータブック発刊後、6年目に見直しの成果を公表することになったものである。

前回のレッドデータブックでは対象にできなかった維管束植物以外の植物、いわゆる下等植物に属する蘚苔類、淡水藻類、地衣類、菌類を網羅することが出来た。

また、前回の記録より精度を高めるために数多くの種類について、県内各地で満遍なく調査に努めたが、完璧を期すことは至難である。

県内では絶滅したと思われていた種類が県内のどこかの自然環境の下で見つかったり、逆にまだきっと生存しているだろうと考えられていた種類がどうしても見出せず、絶滅と判断せざるを得ない場合もあったりと、内容は様々であるがより精度の高い一新したレッドリストとなっている。

しかしながら、生物にはたくましい生命力がある。今後も県内の何処かで生息が確認されないとも限らない。各調査員は今後ともこれら生物の動向に注意して、重要な発見や変更があれば県へ連絡して欲しい。また、県は今後もこれらの結果を何らかの方法で公表していくよう努めるべきである。

(細井幸兵衛)

## ( 2 ) 青森県レッドリスト ( 2006 年 改訂増補版 )

### 植物

#### 維管束植物レッドリスト

##### ・ 維管束植物 選定結果の概要

八甲田大岳の高山帯の踏みつけ破壊は致命的で回復は望めそうもない。ミスズランは崩壊した登山路から流れた土砂の堆積で埋め尽くされてしまったし、井戸岳の斜面はガンコウラン、コメバツガザクラ、コケモモ、ミネズオウ等が密生して絨毯を敷きつめたような一大群落であったが、今ではその面影すらない。キバナシャクナゲは岩木山から消えて1世紀近くなるし、大岳の仙人岱湿原は踏みつけによって完全に破壊されて回復は悲観的である。せめて残っている部分を十分保護しないと南限種のヒメワタスゲが絶滅してしまうおそれがある。

県内ではよくヨブスマソウが記録されているが、本当のヨブスマソウは北海道にのみあって本州には全く分布していない。本県の記録はすべてイヌドウナやコバナコウモリや、2005 年秋に秋田県男鹿半島から特産新種植物として発表されたばかりのオガコウモリ *Parasenecio ogamontanus* を誤認したものである。ちなみにオガコウモリは津軽半島の先端の増川岳から深浦町までと白神山地に広く分布していることを確認しているが、県内の詳しい分布は今後の調査を待たなければならない。

2005 年 10 月、オソレヤマオトコイの学名が *Scirpus* から *Schoenoplectus* に組み替えられた。これはミチノクホタルイとカンガレイの雑種であろうと考えられるが、ミヤマホタルイとカンガレイの雑種と判断されている。

小宮定志他 ( 1992 ) はオオタヌキモと命名した新種を 2001 年に発表された。青森県では木造町・森田村 ( Aug. 7 , 1990 ) ・小川原湖 ( Jul. 25 , 1992 花 ) にもある。また佐井村荒沢でモイワランの自生が見つかり新種であることが判明した。これは西津軽郡にも産する。マツバスゲも存在が判明した一種である。タカネグンバイも本州では深浦町吾妻川の支流で見つかった。また、従来ユリワサビとして認識してきた種類は全く別種のオオユリワサビであることが判明した。このようにこれからも新しい事実が判明するものと考えられる。

野生種は凡そ 1700 種である。コガネギシギシ、ムラサキセンブリ、ヒンジモの3種は青森県 R D B ( 2000 ) 発刊後、次々と見つかり絶滅種ではないことが判明した。このように県内の植物の情報を詳しく把握することが至難で、各委員が精通しているわけではないし、委員同士でも情報・知識・種の認識が一致しているわけでもない。

ウラゲキヌガサソウは山菜を取りにいった人達が見つけて、一部の人々の間では数年前から知られていたと言う。著者は 2001 年に現地を案内してもらって、ウラゲ型であることを確認した。

キジノオシダは村井が昭和 10-11 年に鱒ヶ沢と深浦営林署で植生概況調査の復命書に記録し、昭和 16 年 ( 1941 ) の青森県博物総目録に「低山地林内 ( 西部 ) 」と発表

された。その後長い間再確認されないままであった。西津軽郡旧岩崎村は北限地として特に離れている。

ハコネシダは標本が確認されていないが、記録だけが報じられた。

県外の方に教えられる事も少なくない。カンエンガヤツリやヒシモドキがかつて旧車力村の田光(タビ)沼にあったことを栃木市の古瀬義に教えられた。ヒロハトリゲモは宇都宮市の野口達也から八戸市で採取した標本を恵贈されて確認できた。チシマガリヤスはミズゴケ湿原に生える。日本自然保護協会の保護上重要な植物リスト(1988)に下北半島(個体数は少ない)と注記している。

僅か5年の間にこの他にも書き替えられた種類があることを忘れてはならない。

(細井幸兵衛)

・維管束植物 選定結果

No.	和名	分類群・科名	カテゴリー	環境省がゴリ-
学名				
1	ヒシモドキ	双子葉植物合弁花類・ヒシモドキ科	E X	A類
	<i>Trapella sinensis</i> Oliver			
2	フサタヌキモ	双子葉植物合弁花類・タヌキモ科	E X	A類
	<i>Utricularia dimorphantha</i> Makino 日本特産			
3	ヤナギタウコギ	双子葉植物合弁花類・キク科	E X	A類
	<i>Bidens cernua</i> L.			
4	ハナヒョウタンボク	双子葉植物合弁花類・スイカズラ科	E X	B類
	<i>Lonicera maackii</i> (Rupr.) Maxim.			
5	トウゴクヘラオモダカ	単子葉植物・オモダカ科	E X	該当なし
	<i>Alisma rariflorum</i> Sam.			
6	カンエンガヤツリ	単子葉植物・カヤツリグサ科	E X	類
	<i>Cyperus exaltatus</i> Retz. var. <i>iwasaki</i> (Makino) T.Koyama			
7	タチガヤツリ	単子葉植物・カヤツリグサ科	E X	該当なし
	<i>Cyperus diaphanus</i> Schrader			
8	スギラン	シダ植物・ヒカゲノカズラ科	A	B類
	<i>Huperzia cryptomerina</i> (Maxim.) Dixitt.			
9	キジノオシダ	シダ植物・キジノオシダ科	A	該当なし
	<i>Plagiogyria japonica</i> Nakai			

10	コガネギシギシ	双子葉植物離弁花類・タデ科	A	該当なし
	<i>Rumex maritimus</i> L.			
11	ヤナギヌカボ	双子葉植物離弁花類・タデ科	A	類
	<i>Persicaria foliosa</i> (H.Lindb) Kitag.var. <i>paludicola</i> (Makino) H.Hara			
12	エンピセンノウ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	A	B類
	<i>Silene wilfordii</i> (Regel) H.Ohshi et H.Nakai			
13	クシロワチガイソウ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	A	類
	<i>Pseudostellaria sylvatica</i> (Maxim.) Pax			
14	チシマツメクサ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	A	A類
	<i>Sagina saginoides</i> (L.) Karsten			
15	イトハコベ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	A	該当なし
	<i>Stellaria filicaulis</i> Makino			
16	エゾハコベ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	A	B類
	<i>Stellaria humifusa</i> Rottb.			
17	タカネグンバイ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	A	A類
	<i>Thlaspi japonicum</i> H.Boissieu			
18	オキナグサ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	A	類
	<i>Pulsatilla cernua</i> (Thunb.) Spreng.			
19	シコタンキンポウゲ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	A	B類
	<i>Ranunculus grandis</i> Honda var. <i>austrukurilensis</i> (Tatew.) H. Hara			
20	チトセバイカモ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	A	B類
	<i>Ranunculus yesoensis</i> Nakai			
21	ベニバナヤマシャクヤク	双子葉植物離弁花類・ポタン科	A	B類
	<i>Paenia obovata</i> Maxim.			
22	オサバグサ	双子葉植物離弁花類・ケシ科	A	該当なし
	<i>Pteridophyllum racemosum</i> Siebild. et Zucc.			
23	エゾキケマン	双子葉植物離弁花類・ケシ科	A	該当なし
	<i>Corydalis speciosa</i> Maxim.			
24	チチッパベンケイソウ	双子葉植物離弁花類・ベンケイソウ科	A	該当なし
	<i>Hylotelephium sordidum</i> (Maxim.) H. Ohba			

25	アズマツメクサ	双子葉植物離弁花類・ベンケイソウ科	A	該当なし
	<i>Tillaea aquatica</i> L.			
26	エゾノウワミズザクラ	双子葉植物離弁花類・バラ科	A	該当なし
	<i>Padus racemosa</i> Gilib.			
27	ミヤマダイコンソウ	双子葉植物離弁花類・バラ科	A	該当なし
	<i>Geum calthaejoliu</i> Smith.var. <i>nippoicum</i> (F.Bolle) Ohwi			
28	ホザキシモツケ	双子葉植物離弁花類・バラ科	A	類
	<i>Spiraea salicifolia</i> L.			
29	ホロムイイチゴ	双子葉植物離弁花類・バラ科	A	該当なし
	<i>Rubus chamaemorus</i> L.			
30	エゾシモツケ	双子葉植物離弁花類・バラ科	A	B類
	<i>Spiraea media</i> F.Schmidt var. <i>sericea</i> (Turcz.)Regel			
31	クロビイタヤ	双子葉植物離弁花類・カエデ科	A	B類
	<i>Acer miyabei</i> Maxim.			
32	スズメウリ	双子葉植物離弁花類・ウリ科	A	該当なし
	<i>Zehneria japonica</i> (Thunb.) H.Y.Liu			
33	スギナモ	双子葉植物離弁花類・スギナモ科	A	該当なし
	<i>Hippuris vulgaris</i> L.			
34	マツバニンジン	双子葉植物離弁花類・アマ科	A	該当なし
	<i>Linum stelleroides</i> Planch			
35	ケゴンアカバナ	双子葉植物離弁花類・アカバナ科	A	該当なし
	<i>Epilobium amurense</i> Hausskn.			
36	アシボソアカバナ	双子葉植物離弁花類・アカバナ科	A	該当なし
	<i>Epilobium anagallidifolium</i> Lam.			
37	ヒメアカバナ	双子葉植物離弁花類・アカバナ科	A	該当なし
	<i>Epilobium fauriei</i> Lév.			
38	ムラセキセンブリ	双子葉植物合弁花類・リンドウ科	A	類
	<i>Swertia pseudochinensis</i> H.Hara			
39	キバナシャクナゲ	双子葉植物合弁花類・ツツジ科	A	該当なし
	<i>Rhododendron aureum</i> Georgi			

40	サクラソウ	双子葉植物合弁花類・サクラソウ科	A	類
	<i>Primula sieboldii</i> E. Morren			
41	エゾハナシノブ	双子葉植物合弁花類・ハナシノブ科	A	類
	<i>Polemoniun caeruleum</i> L. subsp. (Miyabe et Kudo) H. Hara			
42	コカモメズル	双子葉植物合弁花類・ガガイモ科	A	該当なし
	<i>Tylophora floribunda</i> Matsum.			
43	バシクルモン	双子葉植物合弁花類・キョウチクトウ科	A	B 類
	<i>Apocynum venetum</i> L.			
44	バアソブ	双子葉植物合弁花類・キキョウ科	A	該当なし
	<i>Codonopsis ussuriensis</i> Hemsl.			
45	モイワシャジン	双子葉植物合弁花類・キキョウ科	A	該当なし
	<i>Adenophora pereskiifolia</i> (Fisch.)Fisch.var. <i>moiwana</i> (Nakai) H.Hara			
46	ムラサキ	双子葉植物合弁花類・ムラサキ科	A	B 類
	<i>Lithospermum erythorhizon</i> Siebold et Zucc.			
47	カイジンドウ	双子葉植物合弁花類・シソ科	A	B 類
	<i>Ajuga ciliata</i> Bunge var. <i>villosior</i> A. Gray			
48	ルリハッカ	双子葉植物合弁花類・シソ科	A	該当なし
	<i>Amethystea caerulea</i> L.			
49	ムシャリンドウ	双子葉植物合弁花類・シソ科	A	B 類
	<i>Dracocephalum argunense</i> Fisch.			
50	エゾナミキソウ	双子葉植物合弁花類・シソ科	A	B 類
	<i>Scutellaria yegoensis</i> Kudo			
51	イヌニガクサ	双子葉植物合弁花類・シソ科	A	A 類
	<i>Teucrium veronicoides</i> Maxim.var. <i>brachytrichum</i> Ohwi			
52	マルバノサワトウガラシ	双子葉植物合弁花類・ゴマノハグサ科	A	B 類
	<i>Deinostema adenocaulun</i> (Maxim.) Yamazaki			
53	ヒナノウスツボ	双子葉植物合弁花類・ゴマノハグサ科	A	該当なし
	<i>Scrophularia duplicatoserrata</i> Makino			
54	クワガタソウ	双子葉植物合弁花類・ゴマノハグサ科	A	該当なし
	<i>Veronica miqueliana</i> Nakai			

55	ヤチコタヌキモ	双子葉植物合弁花類・タヌキモ科	A	B類
	<i>Utricularia ochroleuca</i> R. Hartm.			
56	ミミカキグサ	双子葉植物合弁花類・タヌキモ科	A	該当なし
	<i>Utricularia bifida</i> L.			
57	エゾヒョウタンボク	双子葉植物合弁花類・スイカズラ科	A	B類
	<i>Lonicera alpigena</i> L. subsp. <i>glehnii</i> (F. Schm.) H. Hara			
58	ベニバナヒョウタンボク	双子葉植物合弁花類・スイカズラ科	A	類
	<i>Lonicera maximowiczii</i> (Rupr. ex Maxim.) Rupr. ex Maxim. var. <i>sachalinensis</i> F. Schm.			
59	ケヨノミ	双子葉植物合弁花類・スイカズラ科	A	該当なし
	<i>Lonicera caerulea</i> L. subsp. <i>edulis</i> (Turcz.) Hultén			
60	マツムシソウ	双子葉植物合弁花類・マツムシソウ科	A	該当なし
	<i>Scabiosa japonica</i> Miq.			
61	ヒメヒゴタイ	双子葉植物合弁花類・キク科	A	類
	<i>Saussurea pulchella</i> (Fisch.) Fisch.			
62	ヒメガンクビソウ	双子葉植物合弁花類・キク科	A	該当なし
	<i>Carpesium rosulatum</i> Miq.			
63	ムカシヨモギ	双子葉植物合弁花類・キク科	A	該当なし
	<i>Erigeron acris</i> L. var. <i>kamtschaticus</i> (DC.) Herder			
64	トナカイアザミ (カフトアザミ)	双子葉植物合弁花類・キク科	A	該当なし
	<i>Saussurea acuminata</i> Turcz.			
65	ナガバキタアザミ	双子葉植物合弁花類・キク科	A	該当なし
	<i>S.riedeui</i> Herder subsp. <i>yezoensis</i> (Maxim.) Kitam.			
66	アキノハハコグサ	双子葉植物合弁花類・キク科	A	B類
	<i>Gnaphalium hypoleucum</i> DC.			
67	ヒンジモ	単子葉植物・ウキクサ科	A	B類
	<i>Lemna trisulca</i> L.			
68	ホソバナシバナ	単子葉植物・ホロムイソウ科	A	類
	<i>Triglochin palustre</i> L.			
69	ツツイトモ	単子葉植物・ヒルムシロ科	A	A類
	<i>Potamogetan panormitanus</i> Biv.			



70	イトモ	単子葉植物・ヒルムシロ科	A	類
	<i>Potamogeton pusillus</i> L.			
71	カワツルモ	単子葉植物・ヒルムシロ科	A	B類
	<i>Ruppia maritima</i> L.			
72	トチカガミ	単子葉植物・トチカガミ科	A	該当なし
	<i>Hydrocharis dubia</i> (Blume) Backer			
73	イトトリゲモ	単子葉植物・イバラモ科	A	B類
	<i>Najas japonica</i> Nakai			
74	ヒメユリ	単子葉植物・ユリ科	A	B類
	<i>Lilium concolor</i> Salisb.			
75	クロミノコジマエンレイソウ	単子葉植物・ユリ科	A	類
	<i>Trillium smallii</i> Maxim.var. <i>atropurpureacarpa</i> Samejima.			
76	ウラゲキヌガサソウ	単子葉植物・ユリ科	A	該当なし
	<i>Kinugasa japonica</i> (Franch.et Sav.) Tatew. et Suto var. <i>tomentosa</i> Miyabe et Tatew.			
77	シロウマアサツキ	単子葉植物・ユリ科	A	該当なし
	<i>Allium schoenoprasum</i> L.var. <i>orientale</i> Regel			
78	カラフトホシクサ	単子葉植物・ホシクサ科	A	類
	<i>Eriocaulon sachalinense</i> Miyabe et Nakai			
79	タチイチゴツナギ	単子葉植物・イネ科	A	B類
	<i>Poa nemoralis</i> L.			
80	オオトボシガラ	単子葉植物・イネ科	A	該当なし
	<i>Festuca extremiorientalis</i> Ohwi			
81	タルマイスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	B類
	<i>Carex buxbaumii</i> Wahlenb.			
82	ジョウロウスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	B類
	<i>Carex capricornis</i> Meinsh.			
83	クリイロスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	A類
	<i>Carex diandra</i> Schrank			
84	クグスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	A類
	<i>Carex pseudocyperus</i> L.			

85	ヒメウシオスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	A類
	<i>Carex subspathacea</i> Wormsk.			
86	スジヌマハリイ (ヒゲヌマハリイ)	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	類
	<i>Eleocharis equisetiformis</i> (Meinsh.) B.Fedtsch.form. <i>setosa</i> Kitag.			
87	チャボイ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	類
	<i>Eleocharis parvula</i> (Roem. et Schult.) Link			
88	ヒメワタスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	該当なし
	<i>Trichophorum alpinum</i> (L.) Person			
89	ウシオスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	類
	<i>Carex ramenskii</i> Komar.			
90	マシケスゲモドキ (オシケスゲ)	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	該当なし
	<i>Carex scitaeformis</i> Kuek.			
91	クジュウツリスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	類
	<i>Carex kujuzana</i> Ohwi			
92	イッポンスゲ (シロハリスゲ)	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	該当なし
	<i>Carex tenuiflora</i> Wahlenb.			
93	オクタマツリスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	該当なし
	<i>Carex filipes</i> French et Sav.var. <i>kuzakaiensis</i> (M.Kikuchi) T.Koyama			
94	チシママツバイ	単子葉植物・カヤツリグサ科	A	A類
	<i>Eleocharis acicularis</i> (L.) Roem.et.Schult.			
95	ミスズラン	単子葉植物・ラン科	A	A類
	<i>Androcorys japonensis</i> F. Maek.			
96	サルメンエビネ	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Calanthe tricarinata</i> Lindl.			
97	ヒメホテイラン	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Calypso bulbosa</i> (L.) Oakes			
98	クゲヌマラン	単子葉植物・ラン科	A	A類
	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume var. <i>shizuoi</i> (F. Maek.) Ohwi			
99	トケンラン	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Cremastra unguiculata</i> (Finet) Finet			

100	アツモリソウ	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Cypripedium macranthum</i> Sw. var. <i>speciosum</i> (Rolfe) Koidz.			
101	ヒロハツリシュスラン	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Goodyra pendula</i> Maxim. var. <i>brachyphylla</i> F. Maek.			
102	フジチドリ	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Gymnadenia fujisanensis</i> Sugim.			
103	クシロチドリ	単子葉植物・ラン科	A	A類
	<i>Herminium monorchis</i> (L.) R. Br			
104	フガクスズムシソウ	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Liparis fujisanensis</i> F. Maek.			
105	ヤチラン	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Malaxis paludosa</i> (L.) Sw.			
106	サカネラン	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Neottia nidus-avis</i> (L.) Rich. var. <i>mandshurica</i> Kom.			
107	タカネトンボ	単子葉植物・ラン科	A	類
	<i>Platanthera chorisiana</i> (Cham.) Rchb. f.			
108	イイヌマヌカゴ	単子葉植物・ラン科	A	B類
	<i>Tulotis iinumae</i> (Makino) H. Hara			
109	ベニシュスラン	単子葉植物・ラン科	A	該当なし
	<i>Goodyera macrantha</i> Maxim.			
110	ヒメミズトンボ	単子葉植物・ラン科	A	A類
	<i>Habenaria linearifolia</i> Maxim. var. <i>brachycentra</i> H.Hara			
111	モイワラン	単子葉植物・ラン科	A	該当なし
	<i>Cremastra aphylla</i> Yukawa			
112	オオエゾデンダ	シダ植物・ウラボシ科	B	B類
	<i>Polypodium vulgare</i> L.			
113	デンジソウ	シダ植物・デンジソウ科	B	類
	<i>Marsilea quadrifolia</i> L.			
114	サンショウモ	シダ植物・サンショウモ科	B	類
	<i>Salvinia natans</i> (L.) All.			

115	リシリシノブ	シダ植物・ホウライシダ科	B	該当なし
	<i>Cryptogramma crispera</i> (L.) R.Br.			
116	イチヨウシダ	シダ植物・チャセンシダ科	B	該当なし
	<i>Asplenium ruta-muraria</i> L.			
117	ネズミサシ	裸子植物・ヒノキ科	B	該当なし
	<i>Juniperus rigida</i> Siebold et Zucc.			
118	ミヤマツチトリモチ	双子葉植物離弁花類・ツチトリモチ科	B	類
	<i>Balanophora nipponica</i> Makino			
119	ヌカボタデ	双子葉植物離弁花類・タデ科	B	類
	<i>Persicaria taquetii</i> (H.Lév.) Koidz.			
120	アオモリマンテマ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	B	類
	<i>Silene aomorenensis</i> M.mizus.			
121	オオレイジンソウ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	B	該当なし
	<i>Aconitum gigas</i> H. Lév. et Van. var. <i>hondoense</i> (Nakai) Tamura			
122	センウズモドキ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	B	類
	<i>Aconitum jaluense</i> Kom. subsp. <i>iwatekense</i> (Nakai) kadota			
123	ミチノクフクジュソウ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	B	類
	<i>Adonis multiflora</i> Nishikawa et Ko. Ito			
124	フクジュソウ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	B	類
	<i>Adonis ramosa</i> Franch.			
125	エゾノリュウキンカ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	B	該当なし
	<i>Caltha fistulosa</i> Schipcz.			
126	ハンショウヅル	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	B	該当なし
	<i>Clematis japonica</i> Thunb.			
127	イワカラマツ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	B	B類
	<i>Thalictrum sekimotoanum</i> Honda			
128	ノカラマツ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	B	類
	<i>Thalictrum simplex</i> L. var. <i>brivepes</i> H. Hara			
129	コキツネノボタン	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	B	類
	<i>Ranunculus chinensis</i> Bunge			

130	アズマレイジンソウ	双子葉植物離弁花類・キンボウゲ科	B	該当なし
	<i>Aconitum pterocaule</i> Koidz.			
131	イイギリ	双子葉植物離弁花類・イイギリ科	B	該当なし
	<i>Idesia polycarpa</i> Maxim.			
132	トガクシソウ	双子葉植物離弁花類・メギ科	B	類
	<i>Ranzania japonica</i> (T.Ito) T. Ito			
133	ナンブソウ	双子葉植物離弁花類・メギ科	B	該当なし
	<i>Achlys japonica</i> Maxim.			
134	ネムロコウホネ	双子葉植物離弁花類・スイレン科	B	類
	<i>Nuphar pumilum</i> (Timm) DC.			
135	ハンゲショウ	双子葉植物離弁花類・ドクダミ科	B	該当なし
	<i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Baill.			
136	ヤマシャクヤク	双子葉植物離弁花類・ボタン科	B	類
	<i>Paeonia japonica</i> (Makino) Miyabe et Takeda			
137	ツガルミセバヤ	双子葉植物離弁花類・ベンケイソウ科	B	類
	<i>Hylotelephium ussuriense</i> (Kom.) H. Ohba var. <i>tsugaruense</i> (H. Hara) H. Ohba			
138	レブナイワレンゲ	双子葉植物離弁花類・ベンケイソウ科	B	該当なし
	<i>Orostachys iwarenge</i> (Makino) H. Hara var. <i>glauca</i> (Makino)			
139	シコタンソウ	双子葉植物離弁花類・ユキノシタ科	B	該当なし
	<i>Saxifraga bronchealis</i> L. subsp. <i>funstonii</i> (Small) Hultén var. <i>rebunshirensis</i> (Engl. et Irmsch.) H. Hara			
140	カラフトダイコンソウ	双子葉植物離弁花類・バラ科	B	該当なし
	<i>Geum macrophyllum</i> Willd. var. <i>sachalinense</i> (Koidz.) H. Hara			
141	オオタカネイバラ	双子葉植物離弁花類・バラ科	B	該当なし
	<i>Rosa acicularis</i> Lindl.			
142	ホザキナナカマド	双子葉植物離弁花類・バラ科	B	該当なし
	<i>Sorbaria sorbifolia</i> (L.) A. Br. var. <i>stillipila</i> Maxim.			
143	フジカンゾウ	双子葉植物離弁花類・マメ科	B	該当なし
	<i>Desmodium oldhamii</i> Oliver			
144	タチフウロ	双子葉植物離弁花類・フウロソウ科	B	該当なし
	<i>Geranium kramei</i> Franch. et Sav.			

145	クロツリバナ	双子葉植物離弁花類・ニシキギ科	B	該当なし
	<i>Euonymus tricarplus</i> Koidz.			
146	ハナビゼリ	双子葉植物離弁花類・セリ科	B	該当なし
	<i>Angelica inaequalis</i> Maxim.			
147	マルミノウルシ	双子葉植物離弁花類・トウダイグサ科	B	B類
	<i>Euphorbia ebracteolata</i> Hayata			
148	ヤマアイ	双子葉植物離弁花類・トウダイグサ科	B	該当なし
	<i>Mercurialis leiocarpa</i> Siebold et Zucc.			
149	キバナノコマノツメ	双子葉植物離弁花類・スミレ科	B	該当なし
	<i>Viola biflora</i> L.			
150	オオバタチツボスミレ	双子葉植物離弁花類・スミレ科	B	類
	<i>Viola langsdorffii</i> Fisch. subsp. <i>sachalinensis</i> W. Becker			
151	ホソバアカバナ	双子葉植物離弁花類・アカバナ科	B	該当なし
	<i>Epilobium palstre</i> L.			
152	チシマツガザクラ	双子葉植物合弁花類・ツツジ科	B	類
	<i>Bryanthus gmelinii</i> D. Don			
153	エゾノツガザクラ	双子葉植物合弁花類・ツツジ科	B	該当なし
	<i>Phyllodoce caerulea</i> (L.) Babing.			
154	ナガバツガザクラ	双子葉植物合弁花類・ツツジ科	B	該当なし
	<i>Phyllodoce nipponica</i> Makino subsp. <i>tsugifolia</i> (Nakai) Toyokuni			
155	ミチノクコザクラ	双子葉植物合弁花類・サクラソウ科	B	類
	<i>Primula cuneifolia</i> Ledeb. Var. <i>heterodonta</i> (Franch.) Makino			
156	オオサクラソウ	双子葉植物合弁花類・サクラソウ科	B	該当なし
	<i>Primula jesoana</i> Miq.			
157	ヒナザクラ	双子葉植物合弁花類・サクラソウ科	B	該当なし
	<i>Primula nipponica</i> Yatabe			
158	ユキワリソウ	双子葉植物合弁花類・サクラソウ科	B	該当なし
	<i>Primula farinosa</i> L. subsp. <i>modesta</i> (Bisset et Moore) Pax			
159	ユキワリコザクラ	双子葉植物合弁花類・サクラソウ科	B	該当なし
	<i>Primula farinosa</i> L. var. <i>fauriae</i> (Franch.) Miyabe			

160	ホソバツルリンドウ	双子葉植物合弁花類・リンドウ科	B	B類
	<i>Pterygocalyx volubilis</i> Maxim.			
161	アサザ	双子葉植物合弁花類・ミツガシワ科	B	類
	<i>Nymphoides peltata</i> (S. G. Gmel.) O. Kuntze			
162	チョウジソウ	双子葉植物合弁花類・キョウチクトウ科	B	類
	<i>Amsonia elliptica</i> (Thunb.) Roem. et Schult.			
163	スズサイコ	双子葉植物合弁花類・ガガイモ科	B	類
	<i>Cynanchum paniculatum</i> (Bunge) Kitag.			
164	ツルカメバソウ	双子葉植物合弁花類・ムラサキ科	B	類
	<i>Torigonotis icumae</i> (Maxim.) Makino			
165	キセワタ	双子葉植物合弁花類・シソ科	B	類
	<i>Leonurus macranthus</i> Maxim.			
166	ヤマジソ	双子葉植物合弁花類・シソ科	B	類
	<i>Mosla japonica</i> (Benth.) Maxim.			
167	デワノタツナミソウ	双子葉植物合弁花類・シソ科	B	該当なし
	<i>Scutellaria muramatsui</i> H.Hara			
168	ミヤマウツボグサ	双子葉植物合弁花類・シソ科	B	該当なし
	<i>Prunella vulgaris</i> L. var. <i>aleutica</i> Fern.			
169	ツルカノコソウ	双子葉植物合弁花類・オミナエン科	B	該当なし
	<i>Valeriana fleccidissima</i> Maxim.			
170	オニシオガマ	双子葉植物合弁花類・ゴマノハグサ科	B	該当なし
	<i>Pedicularis nipponica</i> Makino			
171	シラガミクワガタ	双子葉植物合弁花類・ゴマノハグサ科	B	該当なし
	<i>Pseudolysimachion schmidtianum</i> (Regal) Yamazaki subsp. <i>senanensis</i> (Maxim.) Yamazaki var. <i>shiragamiense</i> Yamazaki			
172	キクモ	双子葉植物合弁花類・ゴマノハグサ科	B	該当なし
	<i>Limnophila sessiliflora</i> Blume			
173	エチゴトラノオ	双子葉植物合弁花類・ゴマノハグサ科	B	該当なし
	<i>Pseudolysimachion ovatum</i> (Nakai) Yamazaki subsp. <i>maritimum</i> (Nakai) Yamazaki			
174	タヌキモ	双子葉植物合弁花類・タヌキモ科	B	類
	<i>Utricularia vulgaris</i> L. var. <i>japonica</i> (Makino) Tamura			

175	ヒメタヌキモ	双子葉植物合弁花類・タヌキモ科	B	類
	<i>Utricularia minor</i> L.			
176	ムラサキミミカキグサ	双子葉植物合弁花類・タヌキモ科	B	類
	<i>Utricularia uliginosa</i> Vahl			
177	リンネソウ	双子葉植物合弁花類・スイカズラ科	B	該当なし
	<i>Linnaea borealis</i> L.			
178	ウコンウツギ	双子葉植物合弁花類・スイカズラ科	B	該当なし
	<i>Weigela middendorffiana</i> (Carrère) K. Koch			
179	キキョウ	双子葉植物合弁花類・キキョウ科	B	類
	<i>Platycodon grandiflorum</i> (Jacq.) A. DC.			
180	オニオトコヨモギ	双子葉植物合弁花類・キク科	B	類
	<i>Artemisia congesta</i> Kitam.			
181	アサギリソウ	双子葉植物合弁花類・キク科	B	該当なし
	<i>Artemisia schmidtiana</i> Maxim.			
182	タカサゴソウ	双子葉植物合弁花類・キク科	B	類
	<i>Ixeris chinensis</i> (Thunb.) Nakai subsp. <i>strigosa</i> (H. Lév. et Van.) Kitam.			
183	ウスユキソウ	双子葉植物合弁花類・キク科	B	該当なし
	<i>Leontopodium japonicum</i> Miq.			
184	クモマニガナ	双子葉植物合弁花類・キク科	B	該当なし
	<i>Ixeris dentata</i> (Thunb.) Nakai subsp. <i>kimurana</i> Kitam.			
185	フタバムグラ	双子葉植物合弁花類・アカネ科	B	該当なし
	<i>Hedyotis diffusa</i> Willd.			
186	マルバオモダカ	単子葉植物・オモダカ科	B	類
	<i>Caldesia reniformis</i> (D. Don) Makino			
187	アギナシ	単子葉植物・オモダカ科	B	該当なし
	<i>Sagittaria aginashi</i> Makino			
188	コバノヒルムシロ	単子葉植物・ヒルムシロ科	B	B類
	<i>Potamogeton cristatus</i> Regel et Maack			
189	リュウノヒゲモ	単子葉植物・ヒルムシロ科	B	類
	<i>Potamogeton pectinatus</i> L.			



190	イトクズモ	単子葉植物・ヒルムシロ科	B	類
	<i>Zannichellia palustris</i> L. var. <i>indica</i> (Cham.) Graebn.			
191	イトイバラモ	単子葉植物・イバラモ科	B	A類
	<i>Najas yezoensis</i> Miyabe			
192	カキツバタ	単子葉植物・アヤメ科	B	類
	<i>Iris laevigata</i> Fisch.			
193	コアマモ	単子葉植物・アマモ科	B	該当なし
	<i>Zostera japonica</i> Aschers.et Graebn.			
194	ヒメカイウ	単子葉植物・サトイモ科	B	該当なし
	<i>Calla palustris</i> L.			
195	ヤマトミクリ	単子葉植物・ミクリ科	B	類
	<i>Sparganium fallax</i> Graebn.			
196	タマミクリ	単子葉植物・ミクリ科	B	類
	<i>Sparganium glomeratum</i> (Laest. ex Buerl.) Newman			
197	ヒメミクリ	単子葉植物・ミクリ科	B	類
	<i>Sparganium stenophyllum</i> Maxim.ex Meinsh.			
198	エゾホシクサ	単子葉植物・ホシクサ科	B	該当なし
	<i>Eriocaulon monococcon</i> Nakai			
199	ネム口ホシクサ	単子葉植物・ホシクサ科	B	B類
	<i>Eriocaulon glaberrimum</i> Stake			
200	ホソバナアマナ	単子葉植物・ユリ科	B	該当なし
	<i>Lloydia triflora</i> Baker			
201	ホロムイクグ	単子葉植物・カヤツリグサ科	B	類
	<i>Carex oligosperma</i> Michx.			
202	オオクグ	単子葉植物・カヤツリグサ科	B	類
	<i>Carex rugulosa</i> Kük.			
203	ヌイオスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	B	類
	<i>Carex vanheurckii</i> Muell.-Arg.			
204	タカネクロスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	B	類
	<i>Eriophorum maximowiczii</i> (C.B.Carke) Beetle			

205	ネムロスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	B	類
	<i>Carex gmelinii</i> Hook.et Arn.			
206	コアニチドリ	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Amitostigma kinoshitai</i> (Makino) Schltr.			
207	エビネ	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Calanthe discolor</i> Lindl.			
208	キンセイラン	単子葉植物・ラン科	B	B類
	<i>Calanthe nipponica</i> Makino			
209	ナツエビネ	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Calanthe reflexa</i> Maxim.			
210	ユウシュンラン	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume form. <i>subaphylla</i> (Miyabe et Kudo) Ohwi			
211	キンラン	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume			
212	コアツモリソウ	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Cyperipedium debile</i> Rchb. f.			
213	クマガイソウ	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Cyperipedium japonicum</i> Thunb.			
214	ハマカキラン	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Epipactis papillosa</i> Franch. et Savat. var. <i>sayekiana</i> (Makino) T. Koyama et Y. Asai			
215	ミズトンボ	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Habenaria sagittifera</i> Rchb. f.			
216	ウチョウラン	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Orchis graminifolia</i> (Rchb. f.) Tang et Wang			
217	ガッサンチドリ	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Platanthera takadae</i> Makino subsp. <i>uzenensis</i> (Ohwi) K. Inoue			
218	トキソウ	単子葉植物・ラン科	B	類
	<i>Pogonia japonica</i> Rchb. f.			
219	サワラン	単子葉植物・ラン科	B	該当なし
	<i>Eleorchis japonica</i> F.Maek.			

220	ヒメミズニラ	シダ植物・ミズニラ科	C	類
	<i>Isoetes asiatica</i> (Makino) Makino			
221	ミズニラ	シダ植物・ミズニラ科	C	類
	<i>Isoetes japonica</i> A. Br.			
222	イワヒバ	シダ植物・イワヒバ科	C	該当なし
	<i>Selaginella tamariscina</i> Spring			
223	コウライイヌワラビ	シダ植物・イワデンダ科	C	B 類
	<i>Deparia coreana</i> (Christ) M.Kato			
224	ノダイオウ	双子葉植物合弁花類・タデ科	C	類
	<i>Rumex longifolius</i> DC.			
225	アオモリミミナグサ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	C	該当なし
	<i>Cerastium arvense</i> L. var. <i>japonicum</i> H. Hara			
226	タチハコベ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	C	類
	<i>Moehringia trinervia</i> (L.) Clairv.			
227	ナガバツメクサ	双子葉植物離弁花類・ナデシコ科	C	該当なし
	<i>Stellaria longifolia</i> L.			
228	オオユリワサビ	双子葉植物離弁花類・アブラナ科	C	E X
	<i>Eutrema okunoshimense</i> Taken.			
229	ハクサンハタザオ	双子葉植物離弁花類・アブラナ科	C	該当なし
	<i>Arabis gemmifera</i> (Matsum.) Makino			
230	ハコダテキリンソウ	双子葉植物離弁花類・ベンケイソウ科	C	該当なし
	<i>Sedum ellaconbianum</i> Praegar			
231	ヒメキンポウゲ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	C	類
	<i>Halerpestes kawakamii</i> (Makino) Tamura			
232	オオウマノアシガタ	双子葉植物離弁花類・キンポウゲ科	C	該当なし
	<i>Ranunculus grandis</i> Honda			
233	ミチノクサイシン	双子葉植物離弁花類・ウマノスズクサ科	C	類
	<i>Heterotropa fauriei</i> (Franch.) F. Maek.			
234	エゾオトギリ	双子葉植物離弁花類・オトギリソウ科	C	類
	<i>Hypericum yezoense</i> Maxim.			

235	タコノアシ	双子葉植物離弁花類・ユキノシタ科	C	類
	<i>Penthorum chinense</i> Pursh			
236	ヤシャビシャク	双子葉植物離弁花類・ユキノシタ科	C	類
	<i>Ribes ambiguum</i> Maxim.			
237	ツルキジムシロ	双子葉植物離弁花類・バラ科	C	該当なし
	<i>Potentilla stolonifera</i> Lehm			
238	コガネイチゴ	双子葉植物離弁花類・バラ科	C	該当なし
	<i>Rubus pedatus</i> Smith			
239	チシマフウロ	双子葉植物離弁花類・フウロソウ科	C	該当なし
	<i>Geranium erianthum</i> DC.			
240	ノウルシ	双子葉植物離弁花類・トウダイグサ科	C	類
	<i>Euphorbia adenochlora</i> Morr. Et Decne.			
241	シナノタイゲキ	双子葉植物離弁花類・トウダイグサ科	C	該当なし
	<i>Euphorbia sinanensis</i> (Hurus.) T. Kuros. et H. Ohhashi			
242	コモチレンゲ	双子葉植物離弁花類・ベンケイソウ科	C	類
	<i>Orostachys melacophyllus</i> (Pall) Fisch.var. <i>boemeri</i> (Makino) H.Hara			
243	ゲンジスミレ	双子葉植物離弁花類・スミレ科	C	該当なし
	<i>Viola variegata</i> Fisch. ex Ging var. <i>niponica</i> Makino			
244	タチモ	双子葉植物離弁花類・アリノトウグサ科	C	該当なし
	<i>Myriophyllum ussuriense</i> (Regel) Maxim.			
245	ハクサンサイコ	双子葉植物離弁花類・セリ科	C	該当なし
	<i>Bupleurum nipponicum</i> Koso Pol.			
246	オオウメガサソウ	双子葉植物離弁花類・イチヤクソウ科	C	該当なし
	<i>Chimaphila umbellata</i> (L.) W. Barton			
247	ハイハマボス	双子葉植物合弁花類・サクラソウ科	C	類
	<i>Samolus parviflorus</i> Rafin.			
248	フナバラソウ	双子葉植物合弁花類・ガガイモ科	C	該当なし
	<i>Cynanchum atratum</i> Bunge			
249	タチガシワ	双子葉植物合弁花類・ガガイモ科	C	該当なし
	<i>Cynanchum magnificum</i> Nakai			

250	ハマゴウ	双子葉植物合弁花類・クマツヅラ科	C	該当なし
	<i>Vitex rotundifolia</i> L. f.			
251	テイネニガクサ	双子葉植物合弁花類・シソ科	C	B類
	<i>Teucrium teinenese</i> Kudo			
252	ピロードトラノオ	双子葉植物合弁花類・ゴマノハグサ科	C	該当なし
	<i>Pseudolysimachion ovatum</i> (Nakai) Yamazaki subsp. <i>miya-bei</i> (Nakai et Honda) Yamazaki var. <i>villosum</i> (Furumi) Yamazaki			
253	カノコソウ	双子葉植物合弁花類・オミナエシ科	C	該当なし
	<i>Valeriana fauriei</i> Briq.			
254	和双ノギ'リウ (クノギ'リウ)	双子葉植物合弁花類・キク科	C	類
	<i>Achillea alpina</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Heim.) Kitam.			
255	オオバヨモギ	双子葉植物合弁花類・キク科	C	該当なし
	<i>Artemisia koidzumii</i> Nakai var. <i>megaphylla</i> Kitam.			
256	ミチノクヤマタバコ	双子葉植物合弁花類・キク科	C	該当なし
	<i>Ligularis fauriei</i> (Franch.) Koidz.			
257	オオニガナ	双子葉植物合弁花類・キク科	C	類
	<i>Prenanthes tanakae</i> (Franch. et Sav.) Koidz.			
258	オオマルバノホロシ	双子葉植物合弁花類・ナス科	C	該当なし
	<i>Solanum megacarpum</i> Koidz.			
259	オオシバナ	単子葉植物・ホロムイソウ科	C	類
	<i>Triglochin maritimum</i> L.			
260	ノカンゾウ	単子葉植物・ユリ科	C	該当なし
	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>longituba</i> (Miq.) Maxim.			
261	ミズアオイ	単子葉植物・ミズアオイ科	C	類
	<i>Monochoria korsakowii</i> Regel et Maack			
262	セキショウイ	単子葉植物・イグサ科	C	B類
	<i>Juncus prominens</i> (Buchen.) Miyabe et kudo			
263	ミクリ	単子葉植物・ミクリ科	C	該当なし
	<i>Sparganium erectum</i> L.			
264	ナガエミクリ	単子葉植物・ミクリ科	C	該当なし
	<i>Sparganium japonium</i> Rothert			

265	エゾサワスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	C	類
	<i>Carex viridula</i> Michx.			
266	ミチノクホタルイ	単子葉植物・カヤツリグサ科	C	該当なし
	<i>Schoenoplectus orthorhizomatus</i> (Arai et Miyam.) Hayasaka et H.Ohashi			
267	ハクウンラン	単子葉植物・ラン科	C	該当なし
	<i>Vexillabium nakaianum</i> F.Maek.			
268	チシマヒカゲノカズラ	シダ植物・ヒカゲノカズラ科	D	B類
	<i>Lycopodium alpinum</i> L.			
269	ミドリアカザ	双子葉植物離弁花類・アカザ科	D	該当なし
	<i>Chenopodium bryoniaefolium</i> Bunge			
270	アカミノレイヨウショウマ	双子葉植物離弁花類・キンボウゲ科	D	該当なし
	<i>Actaea erythracarpa</i> Fisch.			
271	エゾイヌナズナ	双子葉植物離弁花類・アブラナ科	D	該当なし
	<i>Draba borealis</i> DC.			
272	シロバナノヘビイチゴ	双子葉植物離弁花類・バラ科	D	該当なし
	<i>Fragaria nipponica</i> Makino			
273	ミズキカシグサ	双子葉植物離弁花類・ミソハギ科	D	B類
	<i>Rotala pentendra</i> (Boxb.) Blatt. et Hallb.			
274	カラフトイチヤクソウ	双子葉植物合弁花類・イチヤクソウ科	D	B類
	<i>Pyrola fauriciana</i> Andres			
275	バイカツツジ	双子葉植物合弁花類・ツツジ科	D	該当なし
	<i>Rhododendron semibarbatum</i> Maxim.			
276	ヒメナエ	双子葉植物合弁花類・マチン科	D	B類
	<i>Mitrasacme indica</i> Wight			
277	アイナエ	双子葉植物合弁花類・マチン科	D	該当なし
	<i>Mitrasacme pygmaea</i> R.Br.			
278	コオニタビラコ	双子葉植物合弁花類・キク科	D	該当なし
	<i>Lapsana apogonoides</i> Maxim.			
279	タカサブロウ	双子葉植物合弁花類・キク科	D	該当なし
	<i>Eclipta prostrate</i> (L.) L.			

280	ヒメハッカ	双子葉植物合弁花類・シソ科	D	類
	<i>Mentha japonica</i> (Miq.) Makino			
281	ヤマホロシ	双子葉植物合弁花類・ナス科	D	該当なし
	<i>Solanum japonense</i> Nakai			
282	ヒヨドリジョウゴ	双子葉植物合弁花類・ナス科	D	該当なし
	<i>Solanum lyratum</i> Thunb.			
283	ササエビモ	単子葉植物・ヒルムシロ科	D	B類
	<i>Potamogeton nipponicus</i> Makino			
284	ネジリカワツルモ	単子葉植物・ヒルムシロ科	D	A類
	<i>Ruppia maritima</i> L.			
285	スゲアマモ	単子葉植物・アマモ科	D	該当なし
	<i>Zostera caespitosa</i> Miki			
286	タチアマモ	単子葉植物・アマモ科	D	類
	<i>Zostera caulescens</i> Miki			
287	ヒロハトリゲモ	単子葉植物・イバラモ科	D	該当なし
	<i>Najas foveolata</i> A.Br.			
288	オオトリゲモ	単子葉植物・イバラモ科	D	該当なし
	<i>Najas ogurensis</i> Miki			
289	シラオイエンレイソウ	単子葉植物・エンレイソウ科	D	A類
	<i>Trillium Xhange</i> Miyabe et Tatew.			
290	ヒオウギ	双子葉植物・アヤメ科	D	該当なし
	<i>Belamcanda chinensis</i> (L.) DC.			
291	ミクリゼキショウ	単子葉植物・イグサ科	D	該当なし
	<i>Juncus ensifolius</i> Wikstr.			
292	ザラツキヒナガリヤス	単子葉植物・イネ科	D	A類
	<i>Calamagrostis nana</i> Takeda subsp. <i>hayachinensis</i> (Ohwi) Tateoka			
293	エゾミクリ	単子葉植物・ミクリ科	D	該当なし
	<i>Aparganum emersum</i> S.E.A.Rehm.			
294	マルミスブタ	単子葉植物・トチカガミ科	D	類
	<i>Blyxa aubertii</i> L.C.Rich.			

295	ハタベスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	D	該当なし
	<i>Carex latisquamea</i> Kom.			
296	イトナルコスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	D	類
	<i>Carex laxa</i> Wahlenb.			
297	ホソバオゼヌマスゲ	単子葉植物・カヤツリグサ科	D	類
	<i>Carex nemurensis</i> Farnch.			
298	チョウセンキバナアツモリソウ	単子葉植物・ラン科	D	A類
	<i>Cypripedium guttatum</i> Sw.			
299	オオミズトンボ	単子葉植物・ラン科	D	B類
	<i>Habenaria linearifolia</i> Maxim.			



維管束植物以外の植物レッドリスト

・ 蘚苔類 選定結果の概要（新規対象分野）

蘚苔類（コケ類）は他の陸上植物群に比べて、一部を除き小形で人々にあまり注目されることはなく地味な存在である。現在、世界で約 22,000 種、日本では約 2000 種、青森県ではおよそ 600 種が記録されている。維管束植物のような発達した器官を持たず直接、体表から必要な養分を摂取している。このため、大気、水、温度、着生する土、岩、樹木等基物の種類などはコケの生育に重要な関わりを持っている。これら環境要素の変化はその生存を大きく左右する。

植生の遷移もあるが、水湿地の埋め立て、土地造成、河川改修や森林の伐採、農薬や生活排水などによる汚染は水環境の悪化を進行させ、水に大きく依存するコケ類の個体数減少や絶滅の危機に遭遇していることを考慮して選定した。

今回選定された蘚苔類は、林間湿地を流れる河川、水路などの水中やその周辺に生育するカワゴケ科の蘚類 3 種、ウキゴケ科の苔類 2 種を含む B ランク 7 種、植物（蘚類）地理学上注目され、青森県内での産地が 1 か所しか記録されていないシノブゴケ科のナガスジハリゴケをはじめ生育地が破壊、環境の悪化によって生存が危ぶまれる種として C ランク 12 種、生育地が局限または希少種を含む D ランク 5 種の合計 24 種である。

蘚苔類調査は県内全域を網羅しておらず、特に県南地方の分布状況は明確でない。今後の調査結果をもとに、さらに各ランクに評価される種が増加又は変更されるものと思われる。

（柿崎敬一）

・ 蘚苔類 選定結果（全て新規選定種）

No.	和名	目・科名	カテゴリー	環境省カテゴリー
	学名			
1	オオミズゴケ	ミズゴケ目・ミズゴケ科	B	類
	<i>Sphagnum palustre</i> L.			
2	コシノヤバネゴケ	イヌマゴケ目・カワゴケ科	B	類
	<i>Dichelyma japonicum</i> Cardot			
3	クロカワゴケ	イヌマゴケ目・カワゴケ科	B	類
	<i>Fontinalis antipyretica</i> Hedw.			
4	カワゴケ	イヌマゴケ目・カワゴケ科	B	類
	<i>Fontinalis hypnoides</i> Hartm.			
5	トガリカイガラゴケ	シトネゴケ目・ヒゲコケ科	B	類
	<i>Myurella tenerrima</i> (Brid.) Lindb.			

6	ウキゴケ	ゼニゴケ目・ウキゴケ科	B	類
	<i>Riccia fluitans</i> L.			
7	イチョウウキゴケ	ゼニゴケ目・ウキゴケ科	B	類
	<i>Ricciocarpos natans</i> (L.) Corda			
8	アオゴケ	シッポゴケ目・キンシゴケ科	C	該当なし
	<i>Saelania glaucescens</i> (Hedw.) Broth.			
9	マユハケゴケ	シッポゴケ目・シッポゴケ科	C	類
	<i>Campylopus fragilis</i> (Brid.) Bruch et Schimp.			
10	ヒロスジツリバリゴケ	シッポゴケ目・シッポゴケ科	C	類
	<i>Campylopus gracilis</i> (Mitt.) A. Jaeger.			
11	シロシラガゴケ	シッポゴケ目・シラガゴケ科	C	DD
	<i>Leucobryum glaucum</i> (Hew.) Aongstr.			
12	カサゴケ	ホンマゴケ目・ハリガネゴケ科	C	DD
	<i>Rhodobryum roseum</i> (Hedw.) Limpr.			
13	オオヒモゴケ	ホンマゴケ目・ヒモゴケ科	C	該当なし
	<i>Aulacomnium palustre</i> (Hedw.) Schwägr.			
14	モミシノブゴケ	シトネゴケ目・シノブゴケ科	C	該当なし
	<i>Abietinella abietina</i> (Hedw.) M.Fleisch.			
15	ナガスジハリゴケ	シトネゴケ目・シノブゴケ科	C	該当なし
	<i>Claopodium prionophyllum</i> (Müll.Hall.) Broth.			
16	ササバゴケ	シトネゴケ目・ヤナギゴケ科	C	該当なし
	<i>Calliergon cordifolium</i> (Hedw.) Kindb.			
17	ヤリノホゴケ	シトネゴケ目・ヤナギゴケ科	C	該当なし
	<i>Calliergonella cuspidata</i> (Hedw.) Loeske			
18	ササオカゴケ(アネリ族ハゴケ)	シトネゴケ目・ヤナギゴケ科	C	類
	<i>Sasaokaea aomoriensis</i> (Paris) Kanda			
19	ミヤマミズゼニゴケ	フタマタゴケ目・アリソンゴケ科	C	類
	<i>Calycularia crispula</i> Mitt.			
20	シマオバナゴケ	シッポゴケ目・シッポゴケ科	D	類
	<i>Trematodon semitortidens</i> Sakurai			

21	マツカリタケナガゴケ	シトネゴケ目・サナダゴケ科	D	DD
	<i>Plagiothecium obtusissimum</i> Broth.			
22	オソレヤマヤバネゴケ	ウロコゴケ目・コヤバネゴケ科	D	該当なし
	<i>Cephaloziella divaricata</i> (Sm.) Schiffn.			
23	ケスジヤバネゴケ	ウロコゴケ目・コヤバネゴケ科	D	類
	<i>Cephaloziella elachista</i> (J.B.Jack ex Gottsche et Rabenh.) Schiffn.			
24	ハッコウダゴケ	ウロコゴケ目・ミゾゴケ科	D	DD
	<i>Eremonotus myriocarpus</i> (Carrington) Lindb. et Kaal. ex Pearson			

・淡水藻類 選定結果の概要（新規対象分野）

藻類とは、水中で生活する、根、茎、葉の分化が見られない、酸素発生型の光合成を営む独立栄養の生物の総称である。また、藻類は水界生態系の中では、一次栄養生産者として、従属栄養生物（動物など）の生活に深く寄与している。

県内には全国的に知名度の高い火山山地の十和田湖（水深全国三位）、蔦沼、宇曽利山湖（強酸性湖）、小川原湖（面積全国 11 位）と小川原湖沼群（海跡湖沼）、猿ヶ森湖沼群（海跡湖沼）、屏風山湖沼群（海跡湖沼）、十三湖（岩木川河口湖）などの多様な湖沼池がある。しかし、藻類の調査結果は極めて少なく、分布種や分布状況はほとんど解明されていない。

今回の藻類の絶滅危惧種の選定については、分布が比較的隔離状況にある陸水圏に生育していて、身近と思われる淡水藻とした。なお、肉眼で識別でき、同定が比較的容易な緑藻（マリモ類）、車軸藻、紅藻（カワモズク類）に絞って検討した。

マリモ類は阿寒湖のマリモが 1952 年に国の特別天然記念物に指定され著名である。県内で生育しているのは 2 種とされてきた。ひとつはヒメマリモで 1937 年に中島全二が左京沼で発見、1953 年に小林義雄・岡田喜一によって命名された。もう 1 種はフジマリモで小川原湖沼群の田面木沼などで昭和の初め頃まで網にかかる馬糞そう（藻体が崩れた球形でケイソウなどが付着し汚れていた。和田干蔵は当初ウツロマリモと考えていた）と呼ばれていたものを、1971 年 県教委（和田等）の調査で往年の姿のものは発見出来なかったが、マリモ様の藻体を採集し、北大の阪井興志雄がフジマリモと同定した。しかし、最近の研究結果から本県の 2 種は阿寒湖のマリモと同種とされた。これにより本邦産の種類は富山県の立山町のタテヤママリモの 2 種となった。また、マリモと近縁の小川原湖の *Wittrochiella salina* Chapman は現在本邦唯一の生育地となっている。

シャジクモ類は本県の湖沼や湧泉や池などの水底に成育し、維管束の発達はないが、外見上は根・茎・葉の区別ができ、中軸の節から 6~8 本の輪生枝を車軸状に出すので、車軸藻と呼ばれ、形態や生育環境などを識別しやすい藻類である。種の選定は環

境省の選定種を検討した。

カワモズク類は紅藻類の一種で、清涼で温度変化の小さい湧水や清流の中の石や杭などに着生し、1～数センチの団塊状の藻体で青から赤褐色の大きな細胞が中軸を形成し、節から多数の数珠状の輪生枝を出し、粘室に包まれている。海の褐藻類のモズク（水雲）類に似ているので川の水雲と呼ばれている。カワモズクを食用としている所もある。

選定種も現地調査は一部だけで、文献などを参考にした。しかし、過去の分布資料や文献が少なく、今後の調査研究に期することが大であった。（平井正和）

・淡水藻類 選定結果（全て新規選定種）

No.	和名	目・科名	カテゴリー	環境省がコリ-
	学名			
1	マリモ（ヒメワサ、アサギワサを含む）	シオグサ目・シオグサ科	A	類
	<i>Cladophora aegaropila</i> (Linnaeus) Rabenhorst			
2	ケナガシャジクモ	シャジクモ目・シャジクモ科	D	類
	<i>Chara benthamii</i> Zaneveld			
3	シャジクモ	シャジクモ目・シャジクモ科	D	類
	<i>Chara braunii</i> Gmelin			
4	カタシャジクモ	シャジクモ目・シャジクモ科	D	類
	<i>Chara gloubularis</i> Thuillier			
5	ハダシシャジクモ	シャジクモ目・シャジクモ科	D	類
	<i>Chara Zeylanica</i> Willdenow			
6	ヒメフラスコモ	シャジクモ目・シャジクモ科	D	類
	<i>Nitella flexilis</i> (Linnaeus) Agardh			
7	ヒメカワモズク	ウミゾウメン目・カワモズク科	D	該当なし
	<i>Batrachospermum gallasei</i> Sirodot			
8	カワモズク	ウミゾウメン目・カワモズク科	D	該当なし
	<i>Batrachospermum moniliforme</i> Roth			
9	アオカワモズク	ウミゾウメン目・カワモズク科	D	該当なし
	<i>Batrachospermum virgatum</i> Sirodot			
10	ユタカカワモズク	ウミゾウメン目・カワモズク科	D	該当なし
	<i>Sirodotia yutakae</i> Kumano			

11	ウイトロキエラ サリナ	シオグサ目・シオグサ科	L P (小川原湖)	該当なし
	<i>Wittrochiella salina</i> Chapman			

・地衣類 選定結果の概要（新規対象分野）

地衣類は菌類と藻類の共生する形態を持つ特殊な植物群である。共生する菌類の多くは子囊菌類で、藻類は緑藻類と藍藻類である。生育形は外形的にみて固着地衣、葉状地衣、樹状地衣に3大別される。地上、岩上、樹（皮）上などに生える。従って樹木の伐採等による森林の破壊や人々の踏みつけによる剥離、食材として採取、さらに有毒ガスによる大気汚染など、生育基物の減少や環境悪化によって絶滅が危惧される。

青森県内での地衣類調査は不十分で、地域的にも偏りがあり今後の全県的な調査が待たれる。

下北半島西部山地に所在する国指定の天然記念物「縫道石山・縫道石の特殊植物群落」内に生育するイワタケ科のオオウラヒダイワタケは、国内では北海道の芦別岳と青森県でのみ記録されている葉状地衣で、山頂の岩上を覆っていたが、その後岩肌が現れる程に激減していることからAランクに評価、またこれと混生するシワイワタケとオオイワブスマは共に個体数が減少していることからBランクとした。同じくイワタケ科のイワタケは山地の岩上や岸壁に着生し、県内の一部地域では食用とされるが、森林伐採などによる生育条件悪化のため、その生存が危ぶまれることからCランクとした。この他分布上注目され、生育条件の悪化などによって個体数が減少していると考えられる24種をDランクとした。選定した種は29種である。

（柿崎敬一）

・地衣類 選定結果（全て新規選定種）

No.	和名	目・科名	カテゴリー	環境省カテゴリー
	学名			
1	オオウラヒダイワタケ	チャシブゴケ目・イワタケ科	A	類
	<i>Umbilicaria muehlenbergii</i> (Ach.) Tuck.			
2	シワイワタケ	チャシブゴケ目・イワタケ科	B	該当なし
	<i>Umbilicaria caroliniana</i> Tuck.			
3	イワタケ	チャシブゴケ目・イワタケ科	B	該当なし
	<i>Umbilicaria esculenta</i> (Miyoshi) Mink.			
4	オオイワブスマ	チャシブゴケ目・イワタケ科	B	該当なし
	<i>Lasallia pennsylvanica</i> (Hoffm.) Llano			
5	バンダイキノリ	チャシブゴケ目・サルオガセ科	C	該当なし
	<i>Sulcaria sulcata</i> (Lév.) Bystrek ex Brodo et D.Hawksw.			

6	ミヤマクグラ	チャシブゴケ目・サルオガセ科	D	該当なし
	<i>Oropogon asiaticus</i> Asah.ex M.Sato			
7	ニセカラタチゴケ	チャシブゴケ目・サルオガセ科	D	該当なし
	<i>Ramalina commixta</i> Asah.			
8	ツツレカラタチゴケモドキ	チャシブゴケ目・サルオガセ科	D	該当なし
	<i>Ramalina pertusa</i> Kashiwa.			
9	ウチキウメノキゴケ	チャシブゴケ目・ウメノキゴケ科	D	該当なし
	<i>Myelochroa irrugans</i> (Nyl.) Elix et Hale			
10	シナノウメノキゴケ	チャシブゴケ目・ウメノキゴケ科	D	該当なし
	<i>Parmelia shinanoana</i> Zahlbr.			
11	フォーリザクロゴケ	チャシブゴケ目・チャシブゴケ科	D	該当なし
	<i>Haematomma fauriei</i> Zahlbr.			
12	チャザクロゴケ	チャシブゴケ目・チャシブゴケ科	D	該当なし
	<i>Loxospora ochrophaea</i> (Tuck.) R.C.Harris			
13	クロイボゴケモドキ	チャシブゴケ目・チャシブゴケ科	D	該当なし
	<i>Tephromela americana</i> (Fée) Kalb			
14	ヒメジョウゴケ	チャシブゴケ目・ハナゴケ科	D	該当なし
	<i>Cladonia humilis</i> (With.) J.R.Laundon			
15	オオサビイボゴケ	チャシブゴケ目・サビイボゴケ科	D	類
	<i>Brigantiaea nipponica</i> (M.Sato) Hafellner			
16	ニセチャハシゴケ	チャシブゴケ目・サビイボゴケ科	D	該当なし
	<i>Calopadia subcoerulescens</i> (Zahlbr.) Vezda			
17	キゴケ	チャシブゴケ目・キゴケ科	D	該当なし
	<i>Stereocaulon exutum</i> Nyl.			
18	ヤマトキゴケ	チャシブゴケ目・キゴケ科	D	該当なし
	<i>Stereocaulon japonicum</i> Th. Fr.			
19	ムクムクキゴケモドキ	チャシブゴケ目・キゴケ科	D	該当なし
	<i>Stereocaulon paschale</i> (L.) Hoffm.			
20	アイイロカプトゴケ	チャシブゴケ目・カプトゴケ科	D	該当なし
	<i>Lobaria isidiosa</i> (Müll. Arg.) Vain.			

21	コウヤクゴケ	チャシブゴケ目・カプトゴケ科	D	該当なし
	<i>Sticta fuliginosa</i> (Dicks.) Ach.			
22	チチレウラムゴケ	チャシブゴケ目・ツメゴケ科	D	該当なし
	<i>Nephroma helveticum</i> Ach. form. <i>caespitosum</i> Asah.			
23	ヘリトリツメゴケ	チャシブゴケ目・ツメゴケ科	D	該当なし
	<i>Peltigera collina</i> (Ach.) Schrad.			
24	アカツメゴケ	チャシブゴケ目・ツメゴケ科	D	該当なし
	<i>Peltigera rufescens</i> (J.C.Weiss.) Humb.			
25	モクズゴケ	チャシブゴケ目・ハナヒラゴケ科	D	該当なし
	<i>Santessoniella grisea</i> (Hue) Henssen			
26	カワホリゴケ	チャシブゴケ目・イワノリ科	D	該当なし
	<i>Collema complanatum</i> Hue			
27	ヤマトカワホリゴケ	チャシブゴケ目・イワノリ科	D	該当なし
	<i>Collema japonicum</i> (Müll. Arg.) Hue			
28	アオキノリ	チャシブゴケ目・イワノリ科	D	該当なし
	<i>Leptogium azureum</i> (Sw.) Mont.			
29	ヤスデゴケモドキ	チャシブゴケ目・リキナ科	D	該当なし
	<i>Phylliscum japonicum</i> Zahlbr.			

・菌類 選定結果の概要（新規対象分野）

a . 菌類の特徴

古く生物界を動物と植物に区別していた時代には菌類は植物に含まれていた。そのなかで被子植物・裸子植物・シダ類を高等植物（維管束植物）とし、菌類は蘚苔類・藻類・地衣類とともに下等植物として取扱われた。しかし、葉緑素をもたず有機物を生産することのできない菌類を植物の仲間として扱うことは、自然界の物質循環を理解するうえで支障となる。そこで生物の三界説の提唱となって有機物の生産者（植物）、消費者（動物）と並んで有機物の分解・還元者として菌類の役割が広く認識されるに至った。最近の定義によれば菌類（狭義）はツボカビ、接合菌、子のう菌、担子菌の4門と生活環の一部不明な不完全菌に分類され、ほかに変形菌、ネコブカビ、卵菌など偽菌類とよばれる一群もある（杉山,2005）。

一方、菌類の便宜的区分として大形菌類、微小菌類の呼称がある。前者は主として担子菌、一部子のう菌のうち肉眼で認めうる比較的大形（cm ないし mm 単位）の子実体を形成するもので、いわゆる“キノコ”の仲間、後者は接合菌、大部分の子のう菌

や不完全菌のほか、一部担子菌のうち顕微鏡的サイズ（およそ 1mm 以下。単位は  $\mu\text{m}$  = 1000 分の 1mm）の子実体を形成するもので、いわゆる“カビ”や“コウボ”の仲間である。このように菌類はおおむねキノコ・カビ・コウボに分けられるが、明確な境界がある訳ではない。

菌類の生息の場、すなわち分解・還元の対象となる有機物を基質という。自然界には植物あるいは動物に由来する、生体（組織）から死体（組織）まで様々の段階の基質があって、それぞれ特有の菌類の住み処となる。基質と菌の関係から寄生菌、殺生菌、腐生菌、共生菌などの呼称が生まれた。菌類の栄養吸収、生長をつかさどる生活体は菌糸、繁殖・変異・分散の役割をになうのが孢子、孢子を形成する器官が子実体である。

#### b．青森県における大形菌類（キノコ）研究史

神潔は「青森博物研究会会報」第 2 号（1935）掲載の「十和田湖・八甲田山付近のキノコ類」の中で酸ヶ湯付近から 43 種、蔦温泉付近で 63 種、十和田湖付近で 18 種のキノコを採集・記録した。神はさらに同会報 3 号の「弘前附近に産する茸類」（1936）では岩木山麓百沢付近で 26 種、沢田苗圃付近で 29 種を記録、同会報第 4 号（1937）の「下北半島に茸を探るの記」で、旧大畑町から旧川内町への縦断途中において採集した茸 85 種を記録した。

土岐晴一は 1941 年から 1957 年まで農林省林業試験場に勤務した。青森県でも採集を行い、成果を今関六也と共同で発表した。例えば、アカハテングタケ *Amanita rhodophylla* Imazeki et Toki は青森県八甲田山で土岐が採集した標本に基づき記載された。

大谷吉雄（1956）は「青森林友」第 89 号の「八甲田山麓菌蕈類採集記録」の中で 25 種のキノコをそれぞれ写真および顕微鏡観察図とともに報告した。

成田傳蔵は長年にわたって県産きのこの種類および生態の調査を続けた。「青森県生物学会誌」第 1 巻（1956）および同誌第 2 巻（1958）に発表の「青森県産のきのこ類」では、合計 114 種のキノコが同定・記録された。このリストは同誌第 27 巻（1990）の「青森県産キノコ目録」では合計 631 種と大幅に増え、この間の青森県におけるキノコ研究の著しい進歩がよく現われている。また「青森県のきのこ」（1983）をはじめ数冊のキノコ図鑑を著わして積極的にキノコの知識の普及と後進の育成に努めた。

県内のキノコ研究者の連携と一層の学術的研究を目標に青森県きのこ会が 1988 年発足した。会長は初代成田傳蔵、1990 年から 2002 年は工藤晃、2003 年以降は工藤伸一である。1989 年以降「青森県きのこ会会報」を発行し、県内の菌類調査に大きく貢献した。「青森のきのこ」（1998）は同会のメンバーを中心に幅広い協力によって完成したもので、学術的にも高く評価されている。



### c. レッドデータ 菌類の種選定の経緯

青森県における大形菌類(キノコ)の分布と生態に関する知見は「青森県のきのこ」(1983)、「続青森県のきのこ」(1985)、「青森県産キノコ目録」(1990)、「青森のきのこ」(1998)などの出版によって年々着実に増加した。また「青森県史 自然篇 生物」(2003)で執筆項目に菌類が取上げられたことも県内の菌類フロラ研究を大いに推進した。一方で、各都道府県単位のきのこ図鑑がほぼ出揃ったことに加え、環境庁編「レッドデータブック 植物 (維管束植物以外) 蘚苔類・藻類・地衣類・菌類」(2000) (以下国のRDBと略称) および日本菌学会東北支部編「東北のキノコ」(2001)の出版によって、わが国の菌類フロラにおける青森県の特徴が次第に鮮明になってきた。これらの経過を踏まえ、青森県生物多様性保全対策検討会では2004年にレッドデータリスト 菌類の新規作成が企画された。この原案作成には前記青森県きのこ会の多大の協力があった。原案に基づき2005年には県内のキノコ研究者10余名の協力のもとにモニタリング(現地調査)を含め資料収集が行なわれた。同年末、資料の整理・分析が行なわれて、最終的に県内の希少大形菌類70種がそれぞれのランクとともに確定された。現在青森県内で確認されているキノコは約700種と見積もられているので、そのおよそ10%に当たる。

なお、微小菌類(カビ・コウボ)についてはまだ県内の調査が不十分なため、今回は種選定の対象とされなかった。

### d. 成果と今後の課題

選定70種をカテゴリー別に見るとAランク...2種、Bランク...11種、Cランク...27種、Dランク...30種である。すなわち絶滅の危機に瀕している(Aランク)あるいは絶滅の危険が増大している(Bランク)と判定された種は全体の約2割、一方、生息・生育を存続する基盤が脆弱(Cランク)あるいは、生息・生育情報の不足(Dランク)と判定された種が約8割である。特にDランク判定が30種に及ぶことは、本県の菌類フロラの調査がまだ不十分なことを示している。Aランク判定のヤチヒロヒダタケの発生は現在本県に限られており、国のRDB(2000)には取上げられていない。コカンバタケは同RDBで絶滅危惧 類とされ、冷温帯分布系の種であることから本県でも一層の注意を要する。

国のRDBで絶滅危惧( , 類)と判定されているエビタケ・タマチョレイタケ・ツヤナシマンネンタケ・ムカシオオミダレタケ・クチキトサカタケ・ツキヨタケは本県でやや普通である。これらは主にブナ林やミズナラ林にみられるもので、本県ではまだこれらの林が他県に比べよく保存されていることが背景にある。

今回の種選定において分布上北方系・南方系要素の混在が注目された。北方系としてはヤチヒロヒダタケをはじめヤマドリタケ・ドクヤマドリなど、南方系としてオニテングタケ・ヒトクチタケなどがあげられよう。日本特産のキツネノサカズキ・オドタケ・クチキトサカタケの発生も貴重な記録である。

生息地・基質の面から見ると、菌根菌（地中で菌糸が生きた植物の根と関係しているもの。例：バカマツタケ・ホンシメジ・ホンショウロなど）と材腐朽菌（菌糸が落枝、倒木、立木の枝幹、根株などの腐朽に関係しているもの。例：シロキツネノサカズキ・シロタモギタケ・カバノアナタケ・シロマイタケなど）が多くを占め、その他林内地上（オオミノミミブサタケ・オオズキンカブリなど）、草地（トガリフカアミガサタケ・ウスムラサキガサ）などである。いずれにしても多様な植物を育む自然環境が菌類の最適の生息地であるといえよう。本リストの菌類を自然保護・環境評価上の1つの指標としてその消長を注意深く見守る必要がある。

（原田幸雄）

引用文献：

- 青森県史編さん自然部会 2003,菌類(キノコ・カビ)の多様性.青森県史 自然篇 生物,p101-144.  
 今関六也・土岐晴一 1955,日本産マツダケ目菌類についての新知見(1).林試研報,79,p1-12,pls.1,2.  
 神 潔 1935,十和田湖・八甲田山付近のキノコ類.青森博物研究会会報,2,p54-62.  
 神 潔 1936,弘前付近に産する茸類.青森博物研究会会報,3,p44-49.  
 神 潔 1937,下北半島に茸を探るの記 4.青森博物研究会会報,4,p31-40.  
 環境庁 2000,改定 日本の絶滅のおそれのある希少野生生物 植物 (維管束植物以外).  
 自然環境研究センター,429pp.  
 工藤伸一・手塚 豊・米内山宏 1998,青森のきのこ.グラフ青森,289pp.  
 成田伝蔵 1956,青森県産のきのこ類 I. 青森県生物学会誌,1(1),p9-4.  
 成田伝蔵 1958,青森県産のきのこ類 II. 青森県生物学会誌,2(1,2),p12-15.  
 成田伝蔵 1983,青森県のきのこ(増補改訂版).東奥日報社,404pp.  
 成田伝蔵 1985,続青森県のきのこ.東奥日報社,227pp.  
 成田伝蔵 1990,青森県産キノコ目録.青森県生物学会誌,27,p1-25.  
 日本菌学会東北支部 2001,東北のキノコ.無明舎,280pp.  
 大谷吉雄 1956,八甲田山麓菌茸類採集記録.青森林友,89,p1-23.  
 杉山純多 2005,菌類・細菌・ウイルスの多様性と系統.裳華房,492pp.

・菌類 選定結果(全て新規選定種)

No.	和名	目・科名	カテゴリー	環境省カテゴリー
	学名			
1	ヤチヒロヒダタケ	ハラタケ目・キシメジ科	A	該当該当なし
	<i>Armillaria ectypa</i> (Fr.:Fr.) Emel			
2	コカンバタケ(ヒメカバタケ)	ヒダナシタケ目・サルノコシカケ科	A	類
	<i>Piptoporus quercinus</i> (Schrad.:Fr.) Karst.			

3	コササクレシロオニタケ	ハラタケ目・テングタケ科	B	該当該当なし
	<i>Amanita squarrosa</i> Nagasawa et Hongo			
4	ヤマドリタケ	ハラタケ目・イグチ科	B	該当なし
	<i>Boletus edulis</i> Bull.:Fr.			
5	ドクヤマドリタケ	ハラタケ目・イグチ科	B	該当なし
	<i>Boletus venenatus</i> Nagasawa			
6	バカマツタケ	ハラタケ目・キシメジ科	B	該当なし
	<i>Tricholoma bakamatsutake</i> Hongo			
7	フサハリタケ	ヒダナシタケ目・サルノコシカケ科	B	該当なし
	<i>Creolophus cirrhatus</i> (Pers.:Fr.) P.Karsten			
8	チョレイマイタケ	ヒダナシタケ目・サルノコシカケ科	B	該当なし
	<i>Dendropolyporus umbellatus</i> (Pers.:Fr.) Jülich			
9	シロマイタケ	ヒダナシタケ目・サルノコシカケ科	B	該当なし
	<i>Grifola albicans</i> Imaz.			
10	カバノアナタケ	ヒダナシタケ目・タバコウロコタケ科	B	該当なし
	<i>Fuscoporia obliqua</i> (Pers.:Fr.) Aoshi.			
11	クロムラサキハナピラタケ	ズキンタケ目・ズキンタケ科	B	該当なし
	<i>Ionomidotis irregularis</i> (Schw.) Durand			
12	キツネノサカズキ	チャワンタケ目・クロチャワンタケ科	B	該当なし
	<i>Galiella japonica</i> (Yasuda) Otani			
13	トガリフカアミガサタケ	チャワンタケ目・アミガサタケ科	B	該当なし
	<i>Morchella patula</i> Per.:Fr. var. <i>semilibera</i> (DC.:Fr.) Imai			
14	ツバヒラタケ	ハラタケ目・ヒラタケ科	C	該当なし
	<i>Pleurotus dryinus</i> (Pers.:Fr.) Kummer			
15	ダイダイヌメリガサ	ハラタケ目・ヌメリガサ科	C	該当なし
	<i>Hygrophorus aureus</i> (Arrh.) Fr.			
16	ウスムラサキガサ	ハラタケ目・ヌメリガサ科	C	該当なし
	<i>Camarophyllus canescens</i> (A.H.Smith et Hesler) Sing.			
17	シロタモギタケ	ハラタケ目・キシメジ科	C	該当なし
	<i>Hypsizigus ulmarius</i> (Bull.:Fr.) Redhead			
18	ツノシメジ	ハラタケ目・キシメジ科	C	該当なし
	<i>Leucopholiota decorosa</i> (Peck) O.K.Miller,Volk et Bessette			

19	オドタケ	ハラタケ目・キシメジ科	C	該当なし
	<i>Clitocybula esculenta</i> Nagasawa et Redhead			
20	ホシアンズタケ	ハラタケ目・キシメジ科	C	該当なし
	<i>Rhodotus palmatus</i> (Bull.:Fr.) R.Maire			
21	フサクギタケ	ハラタケ目・オウギタケ科	C	該当なし
	<i>Chroogomphus tomentosus</i> (Murr.) O.K.Miller			
22	ヒメヌメリイグチ	ハラタケ目・イグチ科	C	該当なし
	<i>Suillus viscidipes</i> Hongo			
23	アイゾメイグチ	ハラタケ目・イグチ科	C	該当なし
	<i>Gyroporus cyanescens</i> (Bull.:Fr.) Quél.			
24	アミハナイグチ	ハラタケ目・イグチ科	C	該当なし
	<i>Boletinus cavipes</i> (Opat.) Kalchbr.			
25	ムラサキヤマドリタケ	ハラタケ目・イグチ科	C	該当なし
	<i>Boletus violaceofuscus</i> Chiu			
26	アシナガイグチ	ハラタケ目・オニイグチ科	C	該当なし
	<i>Boletellus elatus</i> Nagasawa			
27	アカハツモドキ	ハラタケ目・ベニタケ科	C	該当なし
	<i>Lactarius deterrimus</i> Gröger			
28	ニカワウロコタケ	ヒダナシタケ目・シワタケ科	C	該当なし
	<i>Gloeostereum incarnatum</i> S.Ito et Imai			
29	タマチョレイタケ	ヒダナシタケ目・サルノコシカケ科	C	類
	<i>Polyporus tuberaster</i> Pers.:Fr.			
30	ツヤナシマンネンタケ	ヒダナシタケ目・サルノコシカケ科	C	類
	<i>Pyrrhoderma sendaiense</i> (Yasuda) Imaz.			
31	カンバタケ	ヒダナシタケ目・サルノコシカケ科	C	該当なし
	<i>Piptoporus betulinus</i> (Bull.:Fr.) Karst.			
32	ニンギョウタケ	ヒダナシタケ目・コキヨウタケ科	C	該当なし
	<i>Albatrellus confluens</i> (Alb.et Schw.:Fr.) Kotl.et Pouz.			
33	ホンショウロ	ヒメノガステル目・ショウロ科	C	該当なし
	<i>Rhizopogon luteolus</i> Fr.et Nordh.			
34	ムカシオオミダレタケ	キクラゲ目・ヒメキクラゲ科	C	類
	<i>Protodaedalea hispida</i> Imazeki			

35	ツバキキンカクチャワಂತケ	ズキンタケ目・キンカクキン科	C	該当なし
	<i>Ciborinia camelliae</i> Kohn			
36	クチキトサカタケ	ズキンタケ目・ズキンタケ科	C	類
	<i>Ascoclavulina sakaii</i> Y.Otani			
37	オオミノミブサタケ	チャワಂತケ目・ベニチャワಂತケ科	C	該当なし
	<i>Wynnea americana</i> Thaxter			
38	オオズキンカブリ	チャワಂತケ目・アミガサタケ科	C	該当なし
	<i>Ptychoverpa bohemica</i> (Krombh.) Bound.			
39	シロキツネノサカズキ	チャワಂತケ目・ベニチャワಂತケ科	C	該当なし
	<i>Microstoma floccosum</i> (Schw.) Raitviir			
40	カエントケ	ニクザキン目・ニクザキン科	C	該当なし
	<i>Podostroma cornu-damae</i> (Pat.) Boedijn			
41	ナナイロヌメリタケ	ハラタケ目・ヌメリガサ科	D	該当なし
	<i>Hygrocybe laeta</i> (Pers.:Fr.) Kummer			
42	アケボノタケ	ハラタケ目・ヌメリガサ科	D	該当なし
	<i>Hygrocybe calyptraeformis</i> (Berk.et Br.) Fayod.			
43	ホンシメジ	ハラタケ目・キシメジ科	D	該当なし
	<i>Lyophyllum shimeji</i> (Kawamura) Hongo			
44	ヤチナラタケ	ハラタケ目・キシメジ科	D	該当なし
	<i>Armillaria nabsnona</i> Volk et Burdsall			
45	ヒメムキタケ	ハラタケ目・キシメジ科	D	該当なし
	<i>Hohenbuehelia reniformis</i> (G.Meyer:Fr.) Sing.			
46	ニセシジミタケ	ハラタケ目・キシメジ科	D	該当なし
	<i>Tectella patellaris</i> (Fr.) Murr.			
47	ミヤマシメジ	ハラタケ目・キシメジ科	D	該当なし
	<i>Lyophyllum nigrescens</i> Hongo			
48	オオモミタケ	ハラタケ目・キシメジ科	D	該当なし
	<i>Catathelasma imperiale</i> (Fr.) Sing.			
49	クロキツネタケ	ハラタケ目・キシメジ科	D	該当なし
	<i>Laccaria nigra</i> Hongo			
50	ヒメムラサキシメジ	ハラタケ目・キシメジ科	D	該当なし
	<i>Calocybe ionides</i> (Bull.:Fr.) Donk			

51	オニテングタケ	ハラタケ目・テングタケ科	D	該当なし
	<i>Amanita perpasta</i> Corner et Bas			
52	キノオオフクロタケ	ハラタケ目・ウラベニガサ科	D	該当なし
	<i>Volvariella bombycina</i> (Schaeff.:Fr.) Sing.			
53	シワカラカサモドキ	ハラタケ目・ハラタケ科	D	該当なし
	<i>Cystoderma neoamianthinum</i> Hongo			
54	オオツガタケ	ハラタケ目・フウセンタケ科	D	該当なし
	<i>Cortinarius claricolor</i> (Fr.) Fr. var. <i>tumalis</i> (Fr.) Moser			
55	アカジコウ	ハラタケ目・イグチ科	D	該当なし
	<i>Boletus speciosus</i> Frost			
56	アカエノキンチャマイグチ	ハラタケ目・イグチ科	D	該当なし
	<i>Leccinum aurantiacum</i> (Bull.) S.F.Gray			
57	カワキタケ	ハラタケ目・ヒラタケ科	D	該当なし
	<i>Panus torulosus</i> (Pers.:Fr.) Fr.			
58	ニオイカワキタケ	ハラタケ目・ヒラタケ科	D	該当なし
	<i>Panus suavissimus</i> (Fr.) Sing.			
59	ツチヒラタケ	ハラタケ目・キシメジ科	D	該当なし
	<i>Hohenbuehelia geogenia</i> (DC.:Fr.) Sing.			
60	コゲチャヒロハアンズタケ	ハラタケ目・ヒゲハタケ科	D	該当なし
	<i>Hygrophoropsis bicolor</i> Hongo			
61	アカモミタケ	ハラタケ目・ベニタケ科	D	該当なし
	<i>Lactarius laeticolorus</i> (Imai) Imazeki			
62	ハウキタケ	ヒゲナシタケ目・ハウキタケ科	D	該当なし
	<i>Ramaria botrytis</i> (Pers.:Fr.) Ricken			
63	エツキヒメサカズキタケ	ヒダナシタケ目・フウリシタケ科	D	該当なし
	<i>Calyptella capula</i> (Holmsk.:Pers.) Quél.			
64	ヒトクチタケ	ヒダナシタケ目・サルノコシカケ科	D	該当なし
	<i>Cryptoporus volvatus</i> (Peck) Shear			
65	ツガノマンネンタケ	ヒダナシタケ目・マンネンタケ科	D	該当なし
	<i>Ganoderma valesiacum</i> Boud.			
66	カンゾウタケ	ヒダナシタケ目・カンゾウタケ科	D	該当なし
	<i>Fistulina hepatica</i> Schaeff.:Fr.			

67	トゲホコリタケ	ホコリタケ目・ホコリタケ科	D	類
	<i>Bovista yasydae</i> Lloyd			
68	シロキクラゲ	シロキクラゲ目・シロキクラゲ科	D	該当なし
	<i>Tremella fuciformis</i> Berk.			
69	テンガイカブリ	チャワンタケ目・アミガサタケ科	D	該当なし
	<i>Verpa digitaliformis</i> Pers.:Fr.var. <i>digitaliformis</i>			
70	イモタケ	塊菌目・イモタケ科	D	該当なし
	<i>Terfezia gigantea</i> Imai			